

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（3日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	弘前市	代表者名	櫻田 宏
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0172-40-0631
担当者役職	主事	担当者氏名	田澤 亮輔
住所	036-8551 青森県弘前市大字上白銀町1番地1		
連絡先E-mail			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	自治体DXを切り口とした地域社会のDXへの取組、特に地域課題の解決に向けたデジタルとアナログの融合（バランス）と産官学が連携できるプラットフォームの整備など、弘前市の課題を踏まえたアドバイスとDXの潮流と幅広いデジタル知見を元にした提案をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年3月2日	10時00分	11時30分		90
3-2. 派遣場所	会場名	弘前市役所		最寄駅	-
	所在地	青森県弘前市上白銀町1-1		最寄駅からの交通手段	-
	派遣形態	フォローアップ（オンライン）			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	自治体DXの推進に向け全庁的な職員の意識改革が必要となっているとともに、DXに積極的に取り組むデジタル人材の育成が急務となっている。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	全庁的な職員の意識改革を継続的に実施する必要があるとともに、特に市長や副市長、教育長をはじめとする幹部職員のマインドセットの変革へ向けた研修や意見交換等の機会を作りながら、市全体で積極的にDXに取り組む意識を高めること。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"> DXによって実現するビジョンの明確化が重要であること 管理職のマネジメント自体を大きく変えていくことの必要性 若者の地元離れを防ぐための大人のマインドセットの変革 アナログとデジタルの融合とバランス デジタル化によりリストラされた人達を受け入れられる環境整備 DXと観光産業の課題 直方市とZoom社の連携協定を契機とした職員や地域の気づき DXの推進とセキュリティ リカレント教育やリスキリング、街中での学びについて デジタルによるプラットフォームづくりによる市民や学生が活躍する「場」づくり 	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"> アドバイスや提案を受けて、自治体DXを推進するうえで、管理職のマネジメントを変革する必要性を認識できた。 地域のDXを推進するための行政としての役割や在り方が非常に大きいものであるということを確認できた。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 フォローアップのためアンケートは行っていません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子



